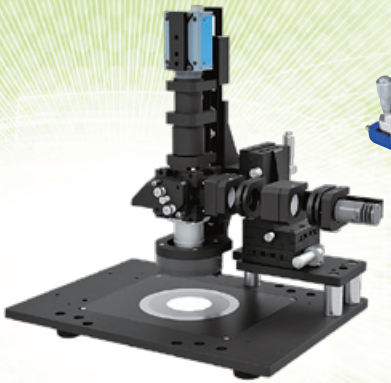
シグマ光機株式会社

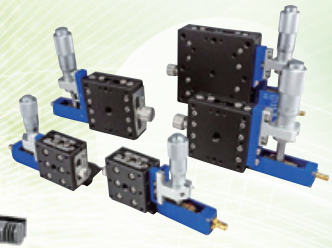
OptoSigma®

証券コード：7713

第49期 中間報告書

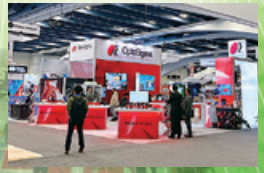
2023年6月1日 ▶ 2023年11月30日





Contents

株主の皆様へ
第2四半期のセグメント別概況(連結)
2024年5月期業績見通し(連結)
Topics
　シグマ光機の中長期経営方針の骨子
　新製品紹介　広視野顕微鏡　CUS-WF
サステナビリティ活動
株主様アンケート結果のご報告
連結財務諸表
株式の状況/会社概要



Light Solutions for Life®

光なら、きっとできる。

株主の皆様へ

経営理念　**我社は光産業を通じ、社会に貢献します。**

「感謝」「挑戦」「創出」

光技術を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

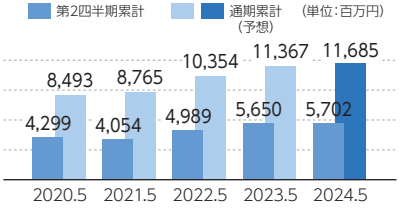
この度の令和６年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

シグマ光機は、1977年の創業以来、光ソリューション・カンパニーとして、最先端の光技術で様々な技術ニーズや産業の変化に応えてまいりました。また、私たちを取り巻く事業環境は常に変化を続けており、複雑化･深刻化が進む社会課題への解決等、当社に求められる役割も年々拡大しております。この度、当社では、「持続可能な成長に向けた価値創造とESG経営」の実現に向けた中長期の経営方針を統合報告書にまとめました。持続的な価値創造を長期ビジョンに掲げて、様々なニーズに対応するイノベーションを進め、事業強化に取り組んでおります。今後も、持続可能な会社の成長と安定的な株主還元の他、地球環境の保全、社会との共生、ガバナンス体制の強化など、環境（E)、社会（S)、ガバナンス（G）の観点から経営を展開し、お客様や株主の皆様とともに、持続可能な未来に向けて挑戦を続ける所存でございます。

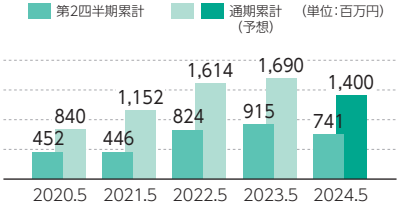
株主の皆様におかれましては、今後とも何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シグマ光機株式会社
代表取締役社長　近藤 洋介

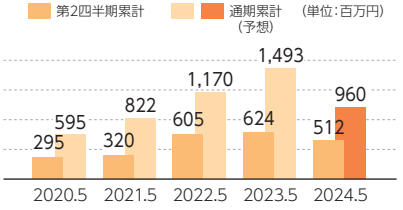
売上高 57億2百万円
（前年同期比 0.9％増）



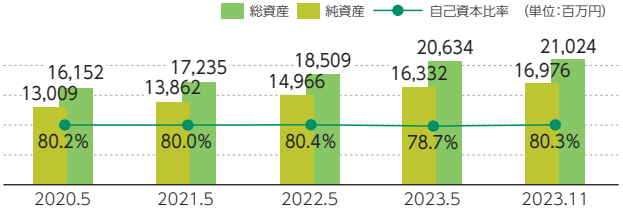
経常利益 7億41百万円
（前年同期比 19.0％減）



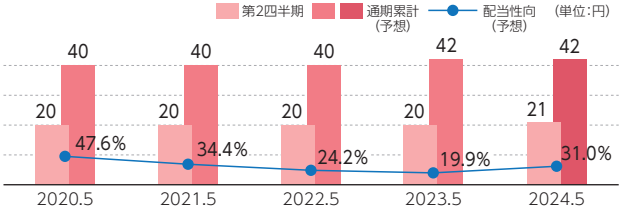
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 5億12百万円
（前年同期比 18.0％減）



総資産･純資産･自己資本比率



配当金、配当性向

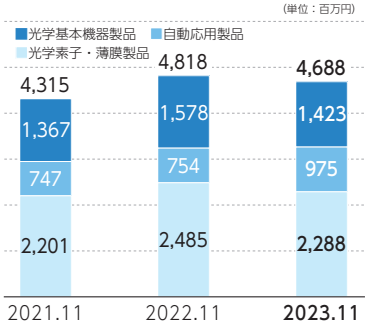


第2四半期のセグメント別概況（連結）

▶ 要素部品事業

売上高 **2.7 %減**

（前年同期比 1億3千万円減）



POINT 国内向けは堅調に推移も海外向けは弱含み

光学基本機器製品及び光学素子・薄膜製品は、国内を中心とした一部の電子部品・半導体業界向けの製造装置・検査装置への組込み用途が堅調に推移いたしましたが、海外地域向けの需要が鈍化し、総じて弱含みで推移いたしました。自動応用製品は、半導体不足等による供給制約の解消が進み、バイオ業界向けや通信業界向けがそれぞれ好調に推移いたしました。

▶ システム製品事業

売上高 **15.8 %増**

（前年同期比 1億4千3百万円増）

POINT 電子部品・半導体業界向けが好調

電子部品・半導体業界向けの製造装置・検査装置への組込み用途の光学ユニット製品及び光学システム製品が好調に推移し、フラットパネルディスプレイ業界向けの製造装置・検査装置への組込み用途の光学ユニット製品も堅調に推移いたしました。また、防衛業界向けの光学システム製品は増加したものの、医療業界向けの光学システム製品は弱含みで推移いたしました。

2024年5月期業績見通し（連結）

世界経済は、地政学的なリスクが一層強まりましたが、コロナ禍以降の供給制約も解消されつつあり、今年度後半に向けて回復すると見込まれております。そのような中、成長市場向けの新製品・新技術の開発、人材育成+IT活用、ウェブ展開＆ブランディング及び社会貢献活動に積極的に取り組み、持続的な成長を図ってまいります。第49期中間配当は1株当り21円とさせていただき、安定的な株主還元を行ってまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当額（通期累計）
11,685百万円 （前期比 2.8%増）	1,275百万円 （前期比 15.2%減）	1,400百万円 （前期比 17.2%減）	960百万円 （前期比 35.7%減）	42円 配当性向（見通し）31.0%

Topics　シグマ光機の中長期経営方針の骨子

中長期ビジョン：持続的な成長に向けた「Great Reset」

シグマ光機は「我社は光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念の下、光技術を通じた社会課題解決に取り組んでいます。人々の「くらし」や「いのち」を支える光技術を提供する「光ソリューション・カンパニー」として、複雑化・深刻化が進む社会課題の解決のため、長期的な視点に基づく戦略思考の実践と、結果にコミットする企業風土に変革・実践させる「Great Reset」を推進しています。

重点戦略　**持続的な成長に向けた価値創造とESG経営**

- ●成長戦略の推進　「持続的な成長に向けた主要KPIの達成」
- ●ビジネスモデル変革　「会社の成長・利益創出のための新しい挑戦・仕組み作り」
- ●事業継承・中核人材育成　「次世代経営幹部の育成」
- ●社会貢献　「Light Solutions for Life®」

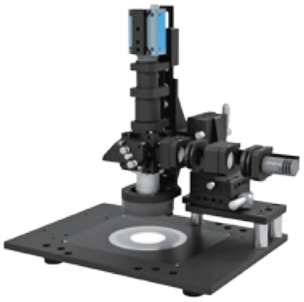
■主要KPI	2023年5月期実績	2024年5月期予算	2026年5月期(3年後)目標
売上高（連結）	11,367 百万円	11,685 百万円	毎年 2～5 % 成長
営業利益率（連結）	13.2 %	10.9 %	15 % 以上
ROE（連結）	※7.5 %	5.9 %	8 % 以上

※固定資産売却益による特別利益の影響を除く。

2023年11月27日に「統合報告書2023」を公開いたしました。上記内容は同資料の4ページに掲載しております。詳細はこちらをご高覧ください。
https://www.sigma-koki.com/asset/data/Integrated-Report-2023.pdf

Topics　新製品紹介　広視野顕微鏡　CUS-WF

細胞1個を観察できる空間分解能でワンショットの広域撮影を実現する正立型の広視野顕微鏡です。



CUS-WF

広い視野と細胞レベルの分解能を両立させた組立て済みの正立顕微鏡です。コアユニット顕微鏡※の組立例「SeMATERAS」に対して分解能や周辺部明るさが改善しています。オプション製品を併用して当社指定の倒立顕微鏡に取り付けることで、同一サンプルの広域観察（本製品）と高解像度観察（当社指定の倒立顕微鏡）を同時に行うことも可能です。
「木を見て森も見る」ことで、従来の顕微鏡では成し得なかったマクロとミクロの同時視点から生命現象を捉えることが可能になります。また、広視野・高分解能を活かした半導体やFPDの検査等への応用も期待されることから、基礎研究から医療応用・産業用途まで幅広い分野での貢献が期待されます。

SeMATERAS2

※コアユニット顕微鏡：Do-It-Yourselfタイプの新しい顕微鏡システム。
機能ごとにユニット化した構成品を組み立てることで、
様々な顕微鏡を低コストで構築できます。

詳細はこちらをご高覧ください。
https://jp.optosigma.com/ja_jp/core-unit-for-microscopy/package/cus-wf-series.html

サステナビリティ活動

すべてのステークホルダーの皆様との良好な関係構築に向けた公正かつ透明なコミュニケーションを目指しています。

●当社ホームページの「サステナビリティ」ページを更新しました。

2023年11月27日に当社の財務情報と非財務情報をまとめた「統合報告書」を初めて発行し、ホームページに掲載しました。本報告書は、あらゆるステークホルダーの皆様に、当社の中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えすることを目的としています。その一環として、「統合報告書2023」では、中長期経営方針や価値創造プロセス、ESGを含むサステナビリティ推進への取り組み等をご紹介しています。
また、統合報告書の発行にあわせてサステナビリティページも更新・拡充しました。
今後も継続的に公開情報の充実化を図っていきます。

サステナビリティ情報はこちらをご高覧ください。
https://www.sigma-koki.com/sustainability/

株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第48期報告書で実施したアンケートは、当社の全株主様5,403名（2023年5月31日時点）の約3%に相当する154名の株主様からご回答いただきました。皆様よりお寄せいただいたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

株主様からのご質問

Q もっとIRに注力してほしいです。

A シグマ光機は、守秘義務関連の案件や、技術・開発要素の強い案件が多いという事業特性はございますが、開示情報の増加や開示情報の視覚化等、より分かりやすい情報開示に努めております。最近では当社の中長期経営方針や非財務情報等を含む「統合報告書2023」を公開いたしました。今後も更なる情報開示及びIR対話の充実に努め、株主の皆様との良好な信頼関係の構築及び適切なご評価の獲得による株主価値の最大化に取り組んでまいります。

Q 人材に対する投資をお願いします。

A シグマ光機は、「人材」こそ、すべての価値創造の源泉であると考えており、すべての従業員がやりがいを持って働き続けていくことを目指しております。多様性と専門性を兼ね備えた人材育成を推進するオリジナル教育制度の拡充の他、多様な人材が働きやすい環境の構築に向けて、価値創造への挑戦が評価される組織と人事評価制度への変革に取り組んでおります。引き続き、人材に対する様々な活動を継続・強化し、人材の活躍による持続的な企業価値増大に努めてまいります。

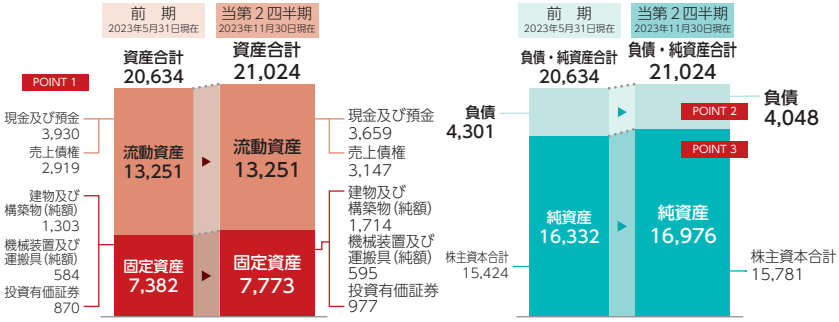
株主様からのご意見・ご要望のご紹介

- ●将来性を感じています。理念も尊重できます。
- ●背伸びせず、技術を磨き社会に尽くせる企業であってほしいと思います。
- ●光科学分野の人材育成を地道に継続してください。
- ●光産業はこれからとても重要な産業だと思うので、期待し、長期保有したいと思っています。

連結財務諸表

連結貸借対照表の概要

（単位：百万円）



POINT 1

資産の変動

流動資産は、受取手形及び売掛金、有価証券、電子記録債権がそれぞれ増加し、現金及び預金、商品及び製品がそれぞれ減少したこと等により前期末と同水準となりました。固定資産は、当社技術センター新工場棟の完成による建物及び構築物、投資有価証券がそれぞれ増加したこと等により前期末比で5.3%増加しました。

POINT 2

負債の変動

流動負債は、電子記録債務、未払法人税等がそれぞれ減少し、短期借入金、支払手形及び買掛金がそれぞれ増加したこと等により前期末比で2.8%減少しました。固定負債は、長期借入金が減少したこと等により前期末比で13.4%減少しました。

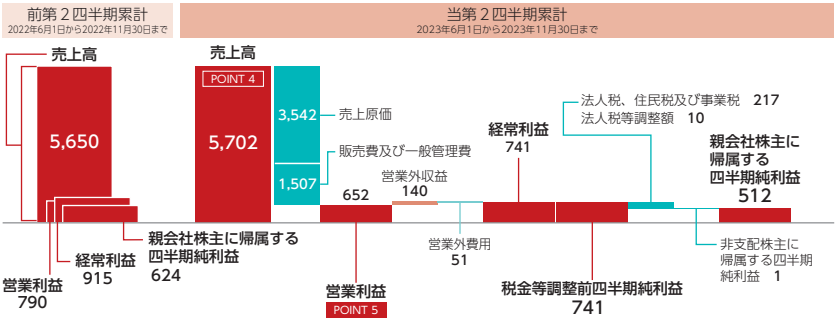
POINT 3

純資産の変動

純資産は、前期末比3.9%増加しました。また、自己資本比率は80.3%となりました。

連結損益計算書の概要

（単位：百万円）



POINT 4

売上高の動き

売上高は、前年同期比で0.9%増加しました。産業分野向けの足元の需要が一時的な在庫調整等でやや弱含みで推移する中、半導体向け及びFPD向けの需要増加等によりシステム製品事業は堅調に推移しました。要素部品事業は一部の海外地域の需要の弱含み等により横ばいで推移しました。

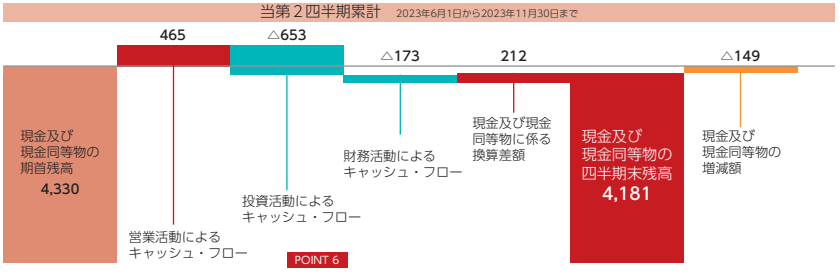
POINT 5

営業利益の動き

営業利益は、高付加価値製品の販売及び継続的な生産性向上等に注力いたしましたが、原材料価格等が高止まりする中、一部需要鈍化による製品セグメント別売上構成比率が変化し、持続的な事業拡大に向けた販売促進費や旅費交通費等がそれぞれ増加した結果、前年同期比では17.4%減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

（単位：百万円）



POINT 6

キャッシュ・フローの状況

営業CFは、法人税等の支払、売上債権の増加などにより減少しましたが、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、棚卸資産の減少などによる増加があり、資金を獲得しました。

投資CFは、有形固定資産の取得による支出などで減少したことにより、資金を使用しました。

財務CFは、短期借入れによる収入で増加しましたが、配当金の支払、長期借入金の返済による支出などで減少し、資金を使用しました。

詳細の情報はこちらをご高覧ください。https://www.sigma-koki.com/ir/document/

株式の状況／会社概要

株式の状況（2023年11月30日現在）

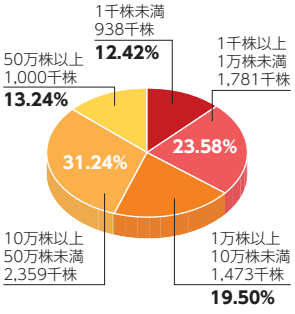
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式総数	7,552,628株
株主数	5,723名 （前期末比320名増）

主要株主

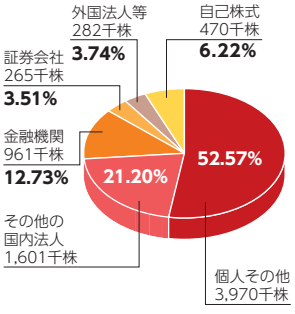
株主名	所有株数（千株）	持株比率（%）
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.11
シグマ光機取引先持株会	457	6.46
株式会社ツシマ	215	3.04
シグマ光機従業員持株会	206	2.90
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.86
富国生命保険相互会社	200	2.82
株式会社サンライズクリエート	148	2.09
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	138	1.95
杉山大樹	110	1.56
株式会社三井住友銀行	110	1.55

（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
3. 持株比率は、自己株式（470,450株）を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
3. 自己株式（470,450株）を含んでおります。

会社概要（2023年11月30日現在）

社　名	シグマ光機株式会社
本　社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設　立	1977年（昭和52年）4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	356名
役　員	代表取締役社長　近藤洋介 取締役　石井康之 取締役　多幡能徳 取締役（社外）　小澤勉 取締役（社外）　野﨑誠 取締役（社外）　松尾祐美子 常勤監査役（社外）　上野健司 監査役（社外）　南雲幸一 監査役（社外）　熊﨑美杉

（注）社外取締役 野﨑誠氏及び松尾祐美子氏、社外監査役 上野健司氏及び熊﨑美杉氏の4氏は独立役員であります。

主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- 上海西格瑪光机有限公司
- LMS株式会社
- タックコート株式会社

当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン（UD）書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。

文字使用例
（従来）S36 ▶ （今回）S36

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会　毎年5月31日 期末配当金　毎年5月31日 中間配当を行う場合は、毎年11月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告URL	https://www.sigma-koki.com/

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（電話照会先）フリーダイヤル 0120-782-031（通話料無料）
（インターネット ホームページURL）
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます）を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご留意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

（特別口座　口座管理機関）	みずほ信託銀行株式会社
（郵便物送付先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-288-324（通話料無料）

株主の皆様の声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

https://koekiku.jp

アクセスキー　7713HjMs

スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

シグマ光機株式会社
東京本社　東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221（総務部）

UD FONT

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK